

中学校 美術

解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1**、**2** については、マーク式解答用紙に、大問 **3**、**4** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **1**、**2** の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違っ^てぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

1 (1)～(9)は、「中学校学習指導要領」(平成29年3月告示)に関する内容、(10)は、「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」(令和2年3月文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター作成)に関する内容について引用したものである。次の(1)～(10)の問いに答えよ。

(1)「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容」について、〔第1学年〕と〔第2学年及び第3学年〕の目標を、下表の通り並べて表記した。【①】～【⑤】に入る正しい語句の組合せはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

〔第1学年〕	〔第2学年及び第3学年〕
(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、【①】に表すことができるようにする。
(2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を【③】することができるようにする。	(2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と【①】な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて【②】・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を【④】することができるようにする。
(3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。	(3) 【⑤】に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

	①	②	③	④	⑤
1	創造的	具体的	深めたり	広げたり	主体的
2	独創的	創造的	広げたり	深めたり	積極的
3	創造的	独創的	広げたり	深めたり	主体的
4	具体的	独創的	深めたり	広げたり	協働的

- (2) 「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕
2 内容 A 表現(2) ア(ア)及び(イ)」について、【①】～【④】に入る正しい語句の組合せはどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は

(2) 表現の活動を通して、次のとおり技能に関する資質・能力を育成する。
ア 発想や構想をしたことなどを基に、表現する活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
(ア) 材料や用具の生かし方などを身に付け、【①】工夫して表すこと。
(イ) 材料や用具の【②】などから制作の【③】などを考えながら、【④】表すこと。

	①	②	③	④
1	意図に応じて	特性	順序	見通しをもって
2	自分の表現方法を	特質	方法	見通しをもって
3	自分の表現方法を	特長	方法	独創的に
4	意図に応じて	特徴	順序	創造的に

- (3) 「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕
3 内容の取扱い(2)」について、【 】に入る内容の記述として当てはまらないものはどれか。
1～4から一つ選べ。(なお、部分的に語尾の表記を変更している。) 解答番号は

「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、発想や構想に関する資質・能力や鑑賞に関する資質・能力を育成する観点から、〔共通事項〕に示す事項を視点に、【 】
などして対象の見方や感じ方を広げるなどの言語活動の充実を図ること。

- 1 アイデアスケッチで構想を練る
- 2 主題に合わせてイメージを確認する
- 3 作品などについて説明し合う
- 4 言葉で考えを整理する

(4)「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕2 内容 B 鑑賞(1)イ(1)」では、生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める活動を通して、鑑賞に関する事項を身に付ける指導について述べられている。【①】～【④】に入る正しい語句の組合せはどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は

日本の美術作品や受け継がれてきた【①】などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り【②】を深めるとともに、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気づき、美術を通じた【③】や美術文化の継承と創造について考えるなどして、【④】を深めること。

	①	②	③	④
1	伝統工芸	理解	国際理解	見方や感じ方
2	表現の特質	愛情	国際理解	見方や感じ方
3	表現方法	見方や感じ方	平和教育	国際理解
4	表現の工夫	見方や感じ方	平和教育	文化理解

(5)「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕3 内容の取扱い(1)」について、【 】に入る正しい語句はどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

第2学年及び第3学年では、第1学年において身に付けた資質・能力を柔軟に活用して、表現及び鑑賞に関する資質・能力をより豊かに高めることを基本とし、第2学年と第3学年の【 】を考慮して内容の選択や一題材に充てる時間数などについて十分検討すること。

- 1 指導事項の違い
- 2 創造活動の経験の違い
- 3 発達の特性
- 4 内容のまとめ

(6)「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第3 指導計画の作成と内容の取扱い Ⅰ(4)」について、【①】～【④】に入る正しい語句の組合せはどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は

第2の各学年の内容の「A表現」については、(1)のア及びイと、(2)は原則として【①】行い、(1)のア及びイそれぞれにおいて描く活動とつくる活動の【②】経験させるようにすること。その際、第2学年及び第3学年の各学年においては、(1)のア及びイそれぞれにおいて、描く活動とつくる活動の【③】扱うことができることとし、2学年間を通して描く活動とつくる活動が【④】に行えるようにすること。

	①	②	③	④
1	単独で	いずれかを選択して	いずれも	段階的
2	関連付けて	いずれも	いずれかを選択して	調和的
3	いずれかを選択して	双方を	いずれも	総合的
4	交互に	いずれも	いずれかを選択して	体系的

(7)「中学校学習指導要領解説 美術編」における「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第3 指導計画の作成と内容の取扱い Ⅰ(6)」に関する解説に記載されている内容について、次の各文のうち誤っているものはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

- 1 障害のある生徒などの指導に当たっては、個々の生徒によって、学習活動を行う場合に生じる困難さが異なることに留意し、個々の生徒の困難さに応じた指導内容や指導方法を工夫すること。
- 2 美術科の目標や内容の趣旨、学習活動のねらいを踏まえ、学習内容の変更や学習活動の代替を安易に行うことがないよう留意するとともに、生徒の学習負担や心理面にも配慮する必要がある。
- 3 造形的な特徴などからイメージを捉えることが難しい場合などにおいて、形や色などに対する気付きや豊かなイメージにつながるように、自分や他の人の感じたことや考えたことを言葉にする場を設定するなどが考えられる。
- 4 表現及び鑑賞に関する資質・能力を育成する観点から、一人一人の状況や発達の特性に配慮し、協働的な学習を充実させていくことが求められる。

(注)

大阪府では、「障害」という言葉が、前後の文脈から人や人の状態を表す場合は、「害」の漢字をひらがな表記とし、「障がい」としています。問題中では、法令からの引用部分については、もとの「障害」の表記にしています。

- (8)「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2 (5)」について、【 】に入る正しい語句はどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は

互いの個性を生かし合い協力して創造する喜びを味わわせるため、適切な機会を選び【 】
創造活動を経験させること。

- 1 対話的に行う
- 2 協働的に行う
- 3 グループで行う
- 4 共同で行う

- (9)「中学校学習指導要領解説 美術編」における「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 4(2)」に関する解説に記載されている内容について、次の各文のうち誤っているものはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

- 1 美術室における作品展示の仕方に創意工夫を図るとともに、それ以外の場所として、玄関ホールや廊下、階段、空き教室などの壁面を活用してミニギャラリーを設け、展示することなどが考えられる。
- 2 作品の展示などについて、学校や生徒の実態に応じて、地域住民が主となって企画・運営を計画することや、校区にある幼稚園、保育所、小学校、高等学校などの児童生徒の作品、他の地域の生徒作品、諸外国の児童生徒の作品などの交流による校内展示を行うことも考えられる。
- 3 美術科は、作品を介して教室内の人間関係だけにとどまらず、教職員や保護者、地域の人々などと連携ができる教科であり、身近なところから社会に関わる活動を進めていくことは、生徒の学びを深めていく上で効果的である。
- 4 地域の施設やイベントなどに生徒作品を展示したり、校区内の小学校と双方の作品を貸し借りするなどして展示し合ったりすることで、新たな交流が生まれ、より多くの人との鑑賞の活動が可能となる。

(10) 『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 第3編 第1章 2」では、題材の評価規準の作成のポイントについて述べられている。【①】～【④】に入る正しい語句の組合せはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

平成29年告示の美術科の中学校学習指導要領では、その改訂において、教科の目標では、育成を目指す資質・能力を一層明確にし、生徒の発達の段階や特性等を踏まえつつ、(1)「知識及び技能」、(2)「思考力、判断力、表現力等」、(3)「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理している。また、内容についても目標に対応して、資質・能力を相互に関連させながら育成できるよう整理している。具体的には、「知識」は、【①】、「技能」は、【②】の指導事項に位置付けられている。「思考力、判断力、表現力等」は、【③】及び【④】の指導事項に位置付けられている。「学びに向かう力、人間性等」は、「A表現」、「B鑑賞」及び〔共通事項〕を指導する中で、一体的、総合的に育てていくものとして整理している。

	①	②	③	④
1	〔共通事項〕	「A表現」(1)	「A表現」(2)	「B鑑賞」(1)
2	「B鑑賞」(1)	「A表現」(2)	「A表現」(1)	〔共通事項〕
3	〔共通事項〕	「A表現」(2)	「A表現」(1)	「B鑑賞」(1)
4	「B鑑賞」(1)	「A表現」(1)	「A表現」(2)	〔共通事項〕

2 (1)～(6)の問いに答えよ。

(1) 版画の表現技法について、次の問いに答えよ。

次のA～Dと、に示されたその「制作方法」ア～エの正しい組み合わせとして、最も適切なものを1～4から1つ選べ。解答番号は11

著作権保護の観点により、 本作品を掲載いたしません。 出典： 600dpi パブリックドメイン美術館 https://600dpi.net/hasui-kawase-0003633/	著作権保護の観点により、 本作品を掲載いたしません。 出典： ロートレック 《ジャンヌ・アヴリル》	著作権保護の観点により、 本作品を掲載いたしません。 出典： Tokyo Museum Collection (ToMuCo) －東京都立博物館・ 美術館収蔵品検索 https://museumcollection.tokyo/works/6381738/	著作権保護の観点により、 本作品を掲載いたしません。 出典： Tokyo Museum Collection (ToMuCo) －東京都立博物館・ 美術館収蔵品検索 https://museumcollection.tokyo/works/6383012/
A	B	C	D

「制作方法」

- ア 木や金属の枠に、絹などの細かい孔のあいた布（紗）を張って版とし、図柄以外の部分の孔を塞ぐ。この版の上にインクをのせて押し出すと図柄の部分の孔を通して、インクが図柄の形で用紙に転写される。
- イ 水と油の反発作用を利用して製版・印刷する版画で、版を彫ることなく、描いたままに再現できる。凹凸が少なく、現在の印刷物の大半がこの原理を応用したオフセットで刷られている。
- ウ スケッチを版木に転写し、線に墨入れをする。刷り重ねのための見当を入れ、彫刻刀で主版を彫り、黒インクで刷る。主版に彩色し、色数や重色を考えて色彩計画をする。薄めの紙に油性のインクで刷りバレンで加圧して転写する。使用する色の数だけ版をつくり、それを刷り重ねる。
- エ 防食材を塗った金属板をニードル等でひっかいて防食膜をはがし、はがした部分を腐食させることで凹部をつくる版画である。腐食の時間で凹部の深さを調整し、線や点の強弱をつけることができ、細かい表現が可能である。

- | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|
| 1 | A－エ | B－ウ | C－イ | D－ア |
| 2 | A－ウ | B－ア | C－イ | D－エ |
| 3 | A－イ | B－ア | C－エ | D－ウ |
| 4 | A－ウ | B－イ | C－エ | D－ア |

(2) 次の各文は、さまざまな材料の特性について説明した内容である。誤っているものを1～4から一つ選べ。解答番号は

- 1 紙は中国で生まれ、朝鮮を経て7世紀の初めに日本へ伝えられ、コウゾ・ミツマタ・雁皮など日本の伝統的な原料を使い、主に手漉きで作られる和紙が生まれた。和紙は丈夫で独特の手触りがあり、保存性に優れている。
- 2 プラスチック素材として、アクリル板は透明度が高く硬いのが特徴であり、紫外線や雨風など環境変化に強く、屋外での看板や案内パネルとして使用されている。PPシートは半透明で比較的軟らかく、カッターで切ることができる。
- 3 金属には、たたくと広がる延性と、引っ張ると伸びる展性がある。特に銅やアルミニウムなどは軟らかく、細かい表現をするのに向いている。また、たたくと硬くなる性質があるため、焼きなましという方法が用いられている。
- 4 竹は、強靱で弾力性に富み、さまざまな幅や厚みに裂いて編める特性と、素朴で清らかな色調がある。竹工芸に用いられているのは、真竹・女竹・黒竹・寒竹など20種類ほどで、なかでも粘りがあり竹細工に適した真竹がよく利用される。

(3) 大阪府作成の「色覚障がいのある人に配慮した色使いのガイドライン」(平成23年9月30日作成、令和4年4月1日改訂)に記載されているカラーユニバーサルデザインに関する内容について、誤っているものを1～4から一つ選べ。解答番号は

- 1 色覚障がいのある人にとっては、明度の高い色に比べて、「灰色と淡い水色」、「灰色と淡い緑」などのような明度の低い色の組み合わせは、識別がより困難になる。
- 2 円グラフなどを描く際に、見分けにくい色を隣接して使う場合は、境界線や地模様などで工夫する。
- 3 同色系の組み合わせや明るい色だけの組み合わせ、暗い色だけの組み合わせはできるだけ避け、明るい色と暗い色を対比させる。
- 4 色だけに頼った情報提供を行うのではなく、色名や文字、記号情報などを併記したり、線の太さや線種などを調整したりして、色がなくても理解できるようデザインすることが重要である。

(4) 次に示した布に着色する染色方法ア～エと、その説明に関する内容の組み合わせとして適切なものを1～4から一つ選べ。解答番号は

「染色方法」

ア 友禅染め イ 有松・鳴海絞り ウ 更紗染め エ 紅型

- ① 型附（カタチキ）と呼ばれる糊置防染手法による型染めで、型紙を当てて生地に糊を塗り、そのあとで取り去った型紙の模様の部分に色を差す染め方であり、沖縄の染物で独特な鮮やかさがある。
- ② 職人が布の上に絵を描くように多彩な色で表現する染色方法で、草花など自然の風景を描かれていることが多く、予め布に入れておいた下絵の輪郭に沿ってのりを塗り、防染したあとに筆や刷毛を使って色付けをしていく。
- ③ インドが起源とされている文様染めで、沢山の型紙を使い刷毛で染料をのせながら模様を作りあげていく技法である。異国的な色模様が美しく、現在では着物や帯、ふとん、風呂敷などに使われている。
- ④ 東海道五十三次の一つである宿で旅人が故郷へのお土産にと買い求めたことから繁栄したと言われている。職人が、下絵に合わせて綿糸や絹糸を生地に括りつけるが、糸によって締められた部分には染料が染み込まないため、これを利用して模様を作っている。その括り方は、技法ごとに専門の職人がおり、100種以上の技法・文様が生み出されてきた。

- | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|
| 1 | アー② | イー① | ウー③ | エー④ |
| 2 | アー② | イー④ | ウー③ | エー① |
| 3 | アー④ | イー② | ウー① | エー③ |
| 4 | アー③ | イー④ | ウー② | エー① |

(5) 次のEについて、【 ① 】～【 ④ 】に入る語句の組み合わせとして正しいものを1～4から一つ選べ。解答番号は

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：鳥獣人物戯画
世界遺産 拇尾山 高山寺 公式ホームページ
(kosanji.com)

E

Eは、【 ① 】後期に絵巻物として描かれた国宝である。この作品は全4巻からなり、当時の世相を反映して動物や人物を戯画的に描いたものである。江戸時代の浮世絵や北斎漫画などと同様、日本最古の漫画と称されている。絵巻物は左手で広げ右手で巻き取りながら肩幅半分ずつ見る。右手で巻き取られた部分は【 ② 】になり、左手側に【 ③ 】がある。異なる時間に起きたことを1つの画面に描く【 ④ 】も特徴的である。

- | | ① | ② | ③ | ④ |
|---|------|----|----|--------|
| 1 | 平安時代 | 未来 | 過去 | 同時展開図法 |
| 2 | 平安時代 | 過去 | 未来 | 異時同図法 |
| 3 | 奈良時代 | 過去 | 未来 | 同時展開図法 |
| 4 | 奈良時代 | 未来 | 過去 | 異時同図法 |

(6) 大阪の伝統工芸品について、次の問いに答えよ。

次の伝統工芸品 F～I と、その名前、主な素材、技法の組み合わせとして、正しいものを 1～4 から 1 つ選べ。解答番号は

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：
大阪伝統工芸品一覧
大阪伝統工芸品産業振興協議会
(eemon-osaka.com)
大阪伝統工芸品産業振興協議会ホームページ

F

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：
大阪伝統工芸品一覧
大阪伝統工芸品産業振興協議会
(eemon-osaka.com)
大阪伝統工芸品産業振興協議会ホームページ

G

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：
大阪伝統工芸品一覧
大阪伝統工芸品産業振興協議会
(eemon-osaka.com)
大阪伝統工芸品産業振興協議会ホームページ

H

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：
堺打刃物（さかいうちはもの）の特徴や歴史
－ KOGEI JAPAN（コウゲイジャパン）

I

	記号	名前	主な素材	製造工程で使う技法
1	F	和泉櫛	桜	板挽き、歯挽き、歯摺り
2	G	大阪欄間	屋久杉	屋根造り、漆塗り、蒔絵
3	H	大阪張り子	紙	木地張り、胡粉塗り
4	I	堺打刃物	鉄	灰もみ、ボイル加工、火のし

3 「光」をテーマにしたさまざまな時代の作品を取り上げ、「光」がもたらす造形的な要素に着目して鑑賞の活動を行うことにした。次に示すア～ウについて、(1)～(2)の問いに答えよ。

(1) 次のア、イについて以下の問いに答えよ。

<p>著作権保護の観点により、 本作品を掲載いたしません。</p> <p>出典：美術資料 大阪府版 京都市立芸術大学美術教育研究会 秀学社 106ページ</p>	<p>著作権保護の観点により、 本作品を掲載いたしません。</p> <p>出典：感じる表す美術 浜島書店編集部 浜島書店 134ページ</p>
ア	イ

- ① ア、イの作者名及び作品名を答えよ。
- ② アとイを比較して、光の表現に着目して鑑賞する際に、生徒に対してどのような説明をするか答えよ。以下の枠内に示した語句をすべて用いて答えること。

バロック 絵の具 モネ

(2) 次のウに関する文章の空欄に当てはまる語句を答えよ。

私たちが生活する上で光は欠かせないものであり、心理的効果もある。影絵は多くの国で親しまれている光と影による表現であり、紙や皮、木などでつくられた人や動物などに後方から光を当て、その影をスクリーンに投影する。現代ではウのように、コンピューターなどで作成した映像とプロジェクターなどの映写機器を用い、建物や立体的な物体に映像を映し出す技術として、
がある。

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：<https://kyototrip.net/osaka/lights-art/>
2023 大阪 OSAKA トリップ
～観光・イベント・グルメ～

ウ

- 4 「中学校学習指導要領（平成29年3月告示）第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容（第2学年及び第3学年）及び第3 指導計画の作成と内容の取扱い」をふまえ、粘土を使った題材を設定することにした。【表I】について、次の（1）～（3）の問いに答えよ。

【表I】

時数	題材名	内容のまとめ
8		目的や機能などを考えた表現 「A表現」(1)イ(ウ)(2)「B鑑賞」(1)イ(イ) [共通事項]【つくる活動】

- (1) 次の留意事項をふまえながら【表I】の題材名及び題材の概要を解答欄に示せ。

留意事項

- ・ 題材設定の際には、教科横断的な視点で組み立て、一人一台配付した情報通信ネットワークに接続可能なタブレット端末の効果的な活用を行うこと。
- ・ 題材の概要には、「生徒の育成をめざす資質・能力」を明確にしたうえで、「何から主題を生み出すのか」等を示しながら学習活動の流れを簡潔に示すこと。

- (2) 学習指導要領において、「A表現」と「B鑑賞」の相互の関連を十分に図り、学習の効果が高まるように指導計画を工夫する必要があるとされている。(1)で示した題材において、鑑賞の学習の指導をどのように工夫するか示せ。

- (3) 本題材において、発想や構想に関する資質・能力及び鑑賞に関する資質・能力を一層高めるために、どのようにして言語活動の充実を図るか示せ。

